

令和 6 年度 福津市一斉防災訓練の結果について（報告）

1 参加率等のデータ

(1) 必須訓練

人口、世帯数は令和 6 年 10 月末現在

年 度	人 口	世 帯 数	避難者数 (参加率 %)
令和 5 年度	68,693 人	30,026 世帯	10,238 人 (14.90%)
令和 6 年度	69,115 人	30,500 世帯	9,258 人 (13.39%)
比較	+422 人	+474 世帯	-980 人 (-1.51%)

※避難者数は令和 5 年度と比較して 9.5%減

※福津市総合防災訓練に参加した福間南一斉避難訓練参加者数 757 人を含む

(2) 任意訓練

郷づくり、自治会

年 度	参加者数	前回比較 (%)
令和 5 年度	2,992 人	+237 人 (+7.9%)
令和 6 年度	3,229 人	

※参加者数は 7.9%増

(3) 各郷づくりごとの集計

地域	勝浦	津屋崎	宮司	福間	福間南	神興	神興東	上西郷	計
必須	271 人	766 人	904 人	3,426 人	938 人	968 人	931 人	1,054 人	9,258 人
任意	130 人	706 人	319 人	422 人	100 人	503 人	980 人	69 人	3,229 人

※地域により、人口や地域性が異なるので、参加者数はあくまで、指標のひとつ

(4) 市職員研修

年 度	参加者数	前回比較 (%)	訓練内容
令和 5 年度	75 人	-2 人 (-2.6%)	・災害対策本部設置訓練 ・防災研修（災害時における行政の役割） 講師 福岡県防災危機管理局防災危機管理専門 監 安武 智彦 氏
令和 6 年度	72 人	-3 人 (-4%)	・福津市災害図上訓練 ・防災研修（熊本県の風水害、地震対応などか らの教訓）講師 熊本県初代危機管理防災企画 監(防災軍師) 有浦 隆 氏

※災害図上訓練と防災研修の二部構成です。

(5) 学校、保育園の訓練

年度	参加者数	前回比較 (%)
令和 5 年度	1,973 人	+4,452 人 (+225.6%)
令和 6 年度	6,425 人	

※小学校の児童引き渡し訓練の保護者の参加者数も含めます。

学校、保育園ごとの集計

学校名等	訓練概要	児童生徒等	保護者等	備考
津屋崎保	避難訓練	55 人	9 人	津波を想定し、津屋崎小 2F 廊下に避難
勝浦小	防災学習	75 人		地域の訓練参加前に防災学習
津屋崎小	防災学習 児童引渡訓練	1,070 人	910 人	地域の訓練参加前に防災学習
福間南小	防災学習 児童引渡訓練	1,560 人	1,330 人	
神興小	防災学習 児童引渡訓練	270 人	230 人	
津屋崎中	防災学習	459 人		
福間東中	防災学習	457 人		11/8 中 1 なまずの郷へ避難 10/8 中 2 防災学習会 (NHK) 11/8 中 3 避難所運営学習会 (県防災士)
合計	6,425 人	3,946 人	2,479 人	

2 訓練を通じての感想と意見集約

(1) 主な感想・意見など

良かった点	悪かった点
・小中学校と連携し取り組んだ地域があった ・地域役員やチームを作って、要配慮者宅を訪問し、安否確認を実施した地域があった ・防災意識の向上に繋がった ・中学校の協力もあり、中学生を訓練に活用できた地域があった ・全戸にチラシ案内し、回覧を複数回に分けるなど、周知を徹底できていた ・訓練を繰り返し行うことにより、スムーズな避難行動がとれていた ・役員の指示に円滑に訓練ができた ・避難者把握の効率化のため、ICT や SNS を	・参加世帯の偏り (若い世代の参加少ない、高齢者が多い) ・訓練実施について、周知できていないことを感じた ・自治会員でない方やマンション世帯の実施状況の把握が困難 ・マンネリ化 ・地理的条件を考えた場合の一次避難場所の再検討 ・役員の連携がうまくいかなかった ・地区防災マップ作成の必要性を感じた ・区の他の行事と重なった ・津波の想定に課題が残った

活用した地域があった ・津波を想定した訓練を実施できた地域があった ・非常用持出袋等を持参した参加者がいた ・区内で顔の見える関係性ができた	
---	--

(2) 感想・意見の集計

90 件の感想や意見をいただき、うち良かった点に関することが 57 件、悪かった点に関することが 18 件、感想等が 15 件ありました。

意見の分類	良かった点		悪かった点		計
訓練への参加	・予想より多かった ・区民の大半が参加 ・顔見える関係性の構築ができた	6	・参加者の減 ・参加者の世代の偏り ・参加者の高齢化	7	13
防災意識向上	防災意識の向上が図れた	4	防災意識の向上が課題	4	8
訓練周知	全戸回覧・案内の実施	3	回覧時期が早すぎた	1	4
防災行政無線		0	放送が聞こえにくい	3	3
要配慮者対策	要配慮者の安否確認を実施できた	1		0	1
タオル掛け	・防犯上、掲げたタオルをすぐに外す工夫をして実施できた ・SOS の場合、ベランダ等にタオルを掲げることとした	4	区で取組んだタオル掛けを実施した世帯が少なかった	1	5
中学生	中学生を活用（安否確認等）した訓練ができた	1		0	1
実施方法	・役員で事前会議や研修をした ・避難所での受付手順（名簿作成、整列点呼等）を整理し実施した ・SNS や ICT を活用して実施した	36	・地域の避難場所の再検討が必要	1	37
津波	津波を想定した訓練ができた	2	地域で津波への対応を考える必要を感じた	1	3
合計		57		18	75

○主なその他の意見

- ・ ペットを同行しての避難者も増えてきた
- ・ 弾道ミサイルに備える訓練も検討する必要がある
- ・ 共助の訓練を実施し、地域課題への気づきがあった
- ・ 地域と学校の訓練（児童引渡訓練）の時間が重なった

3 福津市総合防災訓練&防災フェス in イオンモール福津の結果報告

令和6年11月17日（日）に福間南郷づくり地域郷づくり推進協議会、イオンモール福津、市の共催で、官民の枠を超えた16の協力企業等と「福津市総合防災訓練&防災フェス」を実施しました。当日は、地域住民や市消防団、消防本部、宗像水光会総合病院、自衛隊、企業の訓練と、協力企業等による展示ブースや車両の乗車体験、カレーの炊き出し訓練を行いました。このことにより、自助・共助・公助の連携強化と参加市民や市内外の買い物客に広く防災意識の普及啓発等を図ることができました。

参加者内訳

	訓練参加者数	展示観覧者数
実数	757 人	2,200 人
延人数	1,907 人	11,302 人

※イオンモール福津来場者 29,000 人 ※4 訓練、13 展示

4 まとめ

R6年度は、能登半島地震や、R5年度の防災訓練参加者の大幅増の流れを受け、防災に対する関心が高い中に実施されたこともあり、訓練内容も創意工夫がされ、より充実したものになりました。

また、小中学校等においては、大規模校の福間南小学校において、初めての全児童引渡訓練が行われました。津屋崎保育園も津波を想定して、津屋崎小学校の2階に避難するといったことも実施されました。

これまでの課題として、高齢者社会の到来による参加者世帯の偏りや、自治会未加入の方やマンション世帯への啓発など、地域だけでは解決できない問題がありました。

その解決策のひとつとして、福間南郷づくり地域郷づくり推進協議会、イオンモール福津、市の共催で、福津市総合防災訓練&防災フェスを実施しました。結果として、これまで周知の届かなかった方たちにも、防災意識の普及啓発ができましたし、一部地域からは、今後の任意訓練の参考になったとのお声もいただきました。

今後も、福津市一斉防災訓練を通して、避難における地域の課題解決に繋げていきたいと思ひます。